

# 命を守りくらしを応援する 税金の使い方を求めます

## 「市民が主人公」の視点で予算をチェック

日本共産党  
亀岡市議員団ニュース  
2021年4月28日 No.17-28  
亀岡市安町野々神8  
亀岡市役所 7F  
共産党議員団控室  
電話 0771-22-3131

共産党議員団は、3月議会で、市民の皆様から寄せられた願いを実現する市政めざし、一般質問で市長の姿勢を問い、新型コロナウイルス感染症対策に係る事業を含む令和2年度補正予算、令和3年度予算を審査しました。

### 令和3年度一般会計予算

反対

#### ◎評価できること

##### ◇子ども宅食事業

※希望に応じて、支援が必要なお子さんに、定期的に食材や食品を届けて、様子を確認する

##### ◇環境先進都市推進事業

※河川漂着ごみ調査、拠点施設設計、代替袋補助、リユース食

器導入補助などの諸取組

##### ◇コロナワクチン等感染症対策

※ワクチン接種、学校や市役所など公共施設の感染防止対策

##### ◇公共交通の充実

※コミュニティバス等、バス交通運行の充実

##### ◇学校の施設整備

※大規模改修、トイレ洋式化等

#### ●評価できないこと

◆削られているくらし応援の諸事業の復活を求めたが却下  
◆かねてから指摘している、人権団体や施設へ不必要不明瞭な支出がある

◆市民に寄り添った生活保護行政の充実が図られていない  
◆住民合意のない新火葬場予定地への予算支出  
◆消防指令の広域化を含む中部広域消防組合への負担金

### 令和2年度一般会計補正予算

賛成

#### 【主な内容】

##### ◇新型コロナウイルス対応

・高齢者・障がい者福祉施設でのPCR集団検査支援  
・コロナワクチン接種費用

・緊急雇用創出事業

・市内小売店等の感染防止対策支援

・学校や公共施設の感染防止対策支援

・商業者・市民支援の、かめ

おか応援クーポン第2弾

##### ◇防災・減災のための事業

・道路新設改良事業・街路事業

・学校の大規模改修

・体育館バスケットゴールなどの耐震化、天井照明のLED化などの整備（本梅小・保津小・亀岡中・別院中）

※45の事業は令和3年度にまたがって実施

## 「命の不安」解消へ全力を

～新型コロナウイルス対策で緊急申し入れ～



共産党議員団は、感染拡大が懸念される新型コロナウイルス感染症への対策として、12月議会以降に、感染対策や医療支援、市民・事業者支援（第5次）、ワクチン接種についての提案（第6次）、大規模検査の実施（第7次）等の緊急申し入れを行いました。また、訪問介護員などへの検査の拡充について口頭で要請しました。市長は「誠実に対応・検討する」と述べました。

## 今こそ「市民が主人公」で 3月議会を終えて

### ●困っている市民はたくさんおられる

感染症をめぐる健康の不安、暮らしや営業の困難など、共産党議員団に寄せられた切実な願いや要望をもとに3月議会の一般質問、委員会・予算審査に臨みました。これらの声に心を寄せて、納められた税金をどう使うのか？ 今こそ一人一人の市民が大切にされる市政であるべきだと痛感しているところです。市は「誰一人取り残さない」と宣言し、予算の多くは市民福祉の増進のために使われるものですが、本当に困っている人を見捨てない施策の充実がもつと必要です。とりわけ、この間、生活保護行政についてチェックし、要望や提案を行ってきたが、亀岡市が悪いイメージを持たれかねない事例も生まれています。今後も議員団は、真に一人一人が大切にされる市政になるよう、これらの課題の解決に向けて全力をあげます。

### ●みなさんの声は政治を動かしている

市民のみなさんから寄せられた要望は、少しずつ実現しています。感染症対策として、福祉施設等の集団検査への助成、小売店等の測定器購入等補助が実現し、貧困から子どもを守る宅食事業や、就学援助金の口座振込も今年度から始まります。また、世界の人々の願いでもあり、共産党議員団もかねてから求めてきた、核兵器禁止条約の批准については市長の積極的答弁がありました。ジェンダー平等についても、パートナーシップ宣誓制度が導入されています。今後も、一人一人の市民の声が市政に生きる亀岡市になるよう、ごいっしょに力を合わせて頑張ってください。忌憚ないご意見ご要望、遠慮ないお声を、よろしく願っています。

日本共産党亀岡市議会議員団

# 共産党議員団4人が市政を問う（3月議会一般質問より）



## 【代表質問】政策の立案・執行に 市民の意見を

長澤 みつる

### ●レジ袋条例の運用に市民の意見を

《長澤》①今後の課題に市民や事業者の意見を汲む機会を設けるべきだ。②個別の意見や団体で集約した意見を本市から積極的に聴くべきだ。

《市長》①環境先進都市亀岡協議会やフリーダイヤルで意見を伺い検討する。②事業者が要望を持つてくれば、協議もし、丁寧に進めていく。

### ●商業振興に需要喚起と資金支援を

《長澤》コロナ禍対策と商業振興のために需要喚起による成長促進とともに、国や府の施策も勘案しつつ底上げの資金支援が必要ではないか。

《市長》国や府で資金貸付や時短協力金等が実施されている。本市も一定の補助を検討するが、対策の漏れている部分は国や府に要望したい。

### ●市民に寄り添う生活保護の施策を

《長澤》最近3か年度の生活保護については、相談583件、申請239件、決定219件（議会答弁）であるが、相談の段階で説明して、相談者が断念した事例はあるか。

《市長》制度の概要の照会が大半である。世帯の中の特定の個人とか、支給額と想定額の乖離など、制度上の制約で断念される事例もある。

### 【質問を終えて】

初めて「代表質問」に立ち、2年前の最初の質問より緊張しました。「環境先進都市」をめざす本市の施策は、なお数々の課題があります。議会で議論してきて思うのは、桂川市政の印象をひとこと言えば「柔軟な民間活力誘導の市政」でしょうか。対峙する我々の責務は重大と痛感しています。



## 核兵器禁止条約の批 准・署名を

田中 ゆたか

《田中》国連で採択された核兵器禁止条約が発効した。核兵器の非人道性と核兵器全面禁止、廃絶を訴え続けてこられた広島・長崎の被爆者をはじめ、各国と市民社会の力の歴史的な結果だと考えるが、所見は。

《市長》本条約の発効は、核兵器のない世界の実現に向けた、歴史的にも大きな一歩であると考えている。

《田中》日本政府は、核保有国と非保有国の橋渡しをすると言いつが、実際は、核保有国の代弁者の役割を果たしている。唯一の戦争被爆国の日本こそが署名・批准すべきだ。

《市長》世界連邦・非核平和都市宣言している本市として、政府が条約に署名・批准していないことは、大変残念である。

《田中》市長として、政府に署名・批准を求めている。政府に署名・批准を求めている。政府に署名・批准を求めている。

《市長》平和首長会議加盟自治体と連携し、働きかけていきたい。

### 【質問を終えて】

ビキニ環礁でのアメリカの水爆実験で被爆した久保山愛吉さんは「原水爆の犠牲者は私を最後にしてほしい」と遺言されました。この願いを実現することが、今を生きている私たちの責務であると強く思っています。この他、宮前町に計画されて産業廃棄物処理施設計画、政府が米価と米の需給調整に対する責任を放棄している問題等について質問しました。



## 市民に寄り添い協働 する市政に

三上 きよし

《三上》プツこみゼロや脱炭素への行程は、市民への地道な働きかけと協働の取り組みが足りないのでは。

《市長》ペットボトル削減、マイボトル持参の普及を皮切りに、企業や近隣自治体との連携により多種多様な事業を行う。指摘の通り、市民にたいしての働きかけを強めたい。

《三上》市民に寄り添った丁寧な職員への対応ができていますか。とりわけ生活保護は冷たいという声を聞く。

《部長》今後も接遇研修等を通じて、市民に寄り添う心を心がけたい。丁寧に対応することが私たちの責務。疑義や市民からの意見があれば、何なりと相談いただきたい。

《三上》子どもの権利条例に基づく諸取り組みは、他市の先行事例に学び、児童福祉だけでなく学校教育でも充実させるべきでは。

《部長》学校教育や社会教育でも子どもの権利について浸透させたい。

### 【質問を終えて】

市が先駆的に事業を進めることも必要ですが、市民の思いを大切に受けとめながら、共に歩む姿勢が求められます。質問の最後に、市長公用車が水素自動車になることも環境教育に生かされることになるが、それを学ぶ子どもたちの教室の老朽化した石油ストーブもエアコン使用に切り替えられるよう予算の充実を訴えました。



## 市民の命や暮らしを 守る市政に

並河 あい子

《並河》高齢者施設や作業所などで、社会的PCR検査を実施すべきでは。個別接種と集団接種の具体的な実施方法や相談窓口はどうか。

《市長》PCR検査に要する経費などの助成事業を計画している。個別接種を基本とし、集団接種は運動公園小体育館で日曜日実施予定。コールセンターを設け対応していく。

《並河》JR並河駅の大井踏切は歩道部分がなく危険。改善をすべき。

《部長》危険であると認識している。現在実施している並河停車場線の整備を優先に進めることで踏切を渡る自動車通過交通量を減少させ、安全対策につなげていきたい。

《並河》就学援助費の支払いは保護者が学校まで出向いて支給となっているが改善すべき。

《部長》医療費を除いて本年度より就学援助費は保護者の口座に振り込みとする。

### 【質問を終えて】

コロナ感染症拡大で、市民の暮らしや地元商工業者等に大きな影響が出ており、一日も早い収束がのぞまれます。要望していた高齢者施設や作業所などのPCR検査の一部助成が実現しましたが、社会的検査を市民にも広げることが必要です。コロナ禍で困っている市民の願いに寄り添った相談にも力を入れるべきではないでしょうか。